

国際社会共通の課題は格差の是正だ。資本主義が生み出す共通の課題は所得格差であり、米国など民主主義国も中国のような共産党による専制主義体制でも同様だ。米国の共和党的考え方は経済成長により全体のパイを拡大するのが先決で、そのためには法人税も個人所得税も減税し、需要を拡大し成長を促進する結果、税収が増え、貧者への再配分が可能になるとする。

一方民主的考え方は累進課税で富裕者の税率を高くし、社会保障分野への投資を拡大

グローバル・スコープ

格差是正 — 日米中のジレンマ



し、貧者への所得再配分を優先する。バイデン政権が議会の多数を占めている間に富裕者からの税収を拡大し、

貧者への再配分を促進する予算を確保するのに懸命となっている。

勿論、米国のように

上位1%の富裕層が総資産の30%を占有する

ような激しい格差を是

正するのは可能ではない。日本も岸田政権は

成長と配分をバランス

させること

により所得

格差の是正

を図ることを目玉政策

に掲げ、従

来の安倍・

菅政権から

の差異を出

▲格差是正は

国際社会共

通の課題。

アリババは

「共同富裕」に巨額資金を拠出（ブルームバーグ）

「成長と配分」三者三様

そうとする。しかし日本の場合、経済は長い間低成長を続けており、思い切った成長戦略を実現する事が焦眉の急なのだろう。

中国も習近平総書記

は「共同富裕」という概念を掲げ、成長を遂

げ収益を大幅に拡大し

ているIT企業からの

社会還元を求めている。既にアリババやテ

ンセントは1兆700

0億円相当の巨額資金を拠出することを約し

ている。しかし、貧困

を削減するという政策

は社会主義の実践であ

ったとしても、企業側

からすれば将来への投

資資金が奪われること

になり、成長阻害要因

となる。資本主義の効

率性と社会主義の正義

が相いれるものなのか

注視していく必要がある。注視していく必要がある。注視していく必要がある。

バイデン米大統領

は米中の対立を「民主主義と専制主義の対立」と表現している

が、米国の民主主義体

制のすべてが是で中国

の専制主義体制のすべてが非と決めつけるわ

けにはいかない。米国の大きな所得格差や人

種差別は民主主義の下

でも是正困難だろう。選択の自由に反すると

してワクチン接種の事

実上の義務化に反対する勢力も強い。中国の

体制では基本的人権が

尊重されないことを厳

に掲載

（第2・第4水曜日

しく糾弾されねばならないが、例えば新型コロナウイルス感染防止のためにとられた検査

・隔離・ロックダウン

措置や上述した所得再

配分政策は強権体制下

で可能となっているこ

とも事実として受け止

めるべきだ。

米中対立は今後ますます体制間競争の色合

いを濃くしていく。そ

して究極的には統治の

改善こそが国力の向上

につながることを忘れてはならない。それは

日本も同様である。

（第2・第4水曜日



日本総合研究所
国際戦略研究所
理事長

田中均